

**2022 J3 順位表 第26節**

勝点、得失点差、得点、失点、  
岐阜戦の戦績 (岐阜から見て)

注: \*印は消化試合が数字分少ない

1	いわき	57p	+36	53	17	H●	A●
2	鹿児島	53p	+14	43	29	HO	
3	松本	53p	+14	35	21	H●	
4	藤枝	52p	+21	44	23	A●	H●
5	富山	48p	+9	39	30	AO	
6	今治	47p	+11	40	29	H●	A●
7	長野	43p	+3	29	26	A△	H△
1*8	愛媛	41p	+8	38	30	HO	A△
9	福島	37p	+2	31	29	AO	
10	岐阜	32p	-5	36	41	---	---
11	鳥取	28p	-4	41	45	HO	A●
12	沼津	28p	-10	23	33	A●	
1*13	宮崎	26p	-8	26	34	AO	
14	北九州	26p	-10	24	34	A●	
15	八戸	25p	-18	22	40	H△	A●
16	相模原	23p	-10	26	36	HO	
17	讃岐	20p	-17	19	36	A●	HO
18	YS横浜	18p	-36	17	53	A△	HO

**次回HomeGame**

第28節 vs.カターレ富山

10/9 (日) 14:00

@岐阜メモリアルセンター  
長良川競技場

**大酒場 ホームラン**

名鉄岐阜駅前 (三菱UFJ銀行隣り)  
年中無休 午後3時から営業

TEL.058-263-5201

「いらっしゃいませ」より  
「おかえりなさい」が似合う  
アットホームな韓国料理店。

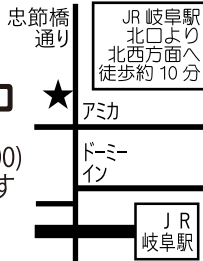
『チヂミ屋』は  
JR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。  
休:月曜日

今日もここから  
串かつ一杯

煮込み **珍道中**  
串かつ

14:30 ~ 22:00 (L.O. 21:00)  
※売り切れ次第、終了です  
<定休日:日曜・祝日>

TEL. 058-252-1580



today's guest : **福島ユナイテッド**

2021 J3 13勝6分9敗 勝ち点45:5位

直近の対決と結果

2022/06/18

J3-13節@とうスタ

**福島 0-1 岐阜**

大西遼太郎 scored.

ここ3試合の公式戦の結果

FC岐阜	福島ユナイテッド
2022/09/25 J3-26節@Jスタ いわき 2-1 岐阜	2022/09/25 J3-26節@とうスタ 福島 2-1 北九州
2022/09/17 J3-25節@プラスタ 八戸 3-1 岐阜	2022/09/18 J3-25節@長野U 長野 0-1 福島
2022/09/14 J3-21節@長良川 岐阜 0-3 藤枝	2022/09/10 J3-24節@とうスタ 福島 0-1 松本

●雷雨による試合中断の影響で、過密日程のホーム3連戦を戦うことになったFC岐阜。その、前半22分・0-1から再開された9/14(水)第21節・ホーム藤枝戦は、決定機が何度もありながらゴールできずにいると、#19 GK 桐畑和繁がPKを与えてしまい、藤枝に2点目が入る。バランスを崩した岐阜は3点目も奪われ、0-3で敗れた。続く9/17(土)第25節・アウェイ八戸戦でも、岐阜が序盤から攻勢に出るものの決められずに先制点を奪われる。後半にFKを#38 藤岡浩介が押し込んで同点に追いつくが、終盤に八戸の素早い攻撃に対応できず2失点を許し、1-3で敗戦。そして9/25(日)第26節・アウェイいわき戦は、首位を相手に集中した守備を見せる岐阜だったが、前半終了間際の際を突かれて失点。後半には#38 藤岡がゴール前でのこぼれ球を決めて同点に追いつくが、岐阜はPA内でGKとDFが交錯しボールをこぼして2点目を献上。結局、これが決勝点となって1-2で敗れた岐阜は、3連敗を喫することとなった。

現在のFC岐阜の順位は10位。今シーズン残り試合は、今節を含めて8試合、ホーム戦は5試合。首位・いわきとの勝点差は25で、FC岐阜の今季J3優勝の可能性は完全に消滅し、2位・鹿児島との勝点差は21で昇格の可能性も限りなくゼロ。9位・福島との勝点差も5に離され、11位・鳥取が追い上げてきている。シーズン目標が達成不可能になったことが理由なのか、チーム全体として、精彩を欠いたプレーや安易なミスが多く見られる。直近5試合で1勝1分3敗・6得点9失点と、残念ながら長く暗いトンネルから抜け出す気配が全く感じられない。しかし、とにかくホーム戦では勝利すること、そのために最後まで全力を尽くして戦い抜くことは、全てのJリーグクラブに求められているはずだ。チーム全体で必死にもがき苦しみながら、それでも今節も勝利のために戦い抜いて、そして今節こそはホームで勝利を掴み取る姿を、僕らFC岐阜サポーターに見せて欲しいものだ。

さて、今節の対戦相手は福島ユナイテッドFC。昨季は時崎悠監督の下で躍進し、シーズン折り返し直後には首位に立って優勝争いも演じたが、得点源のイスマイラ(現・京都)の移籍などが影響してか調子を落とし、最終順位は5位。今季は時崎監督がJ2・栃木の監督に就任し、また主力選手が何名もチームを離れた。そして新監督には、岐阜に選手として在籍した(12~13年)服部年宏氏が就任して、新しいチームの指揮を任された。すると開幕戦から3連勝・7試合4勝3分と、今季も序盤は優勝争いに加わったが、徐々に順位を落として、現在は9位。ただし、調子を落としたとはいえ岐阜よりは上位だし、直近5試合の戦績は3勝2敗と、こちらも岐阜より良い戦績だ。福島はフィジカルを活かしたシンプルな攻守を見せるチームで、今季の岐阜が苦手とするタイプであり、難しい試合になるだろう。福島との対戦は、岐阜の3勝2敗・6得点7失点。直近対戦の6/18(土)アウェイ第13節では、CKで#23 大西遼太郎が奪った1点を守り切って0-1で勝利。しかし昨年のホーム戦、五輪中断明けの8/28(土)第16節では、岐阜の倍以上となる15本ものシュートを撃たれて0-4。この日は#13 桐山周也選手の命日だったにも関わらず覇気なく惨敗し、昨季のチームの失速を象徴する試合だった。今節は、二度と同じ轍を踏まない試合内容が求められる。

福島の要注意選手には、現在8ゴールの#9 高橋潤哉を挙げる。ただし、直近5試合では得点がない。後半からジョーカー的に投入され、直近5試合で3ゴールの#25 長野星輝に注意すべきかもしれない。また、清水から期限付き移籍で、服部監督と共に岐阜でプレー(12~13年)した#40 樋口寛規は、福島で7年目を迎えるチーム最古参。古巣対決に気持ちが入っていることだろう。

新型コロナは“第7波”がピークアウトし、全数把握の簡略化も始まったが、まだ“第8波”への警戒を緩めていい状況ではない。Jリーグでの陽性者判定や、開催中止の試合も出ている。しかし、“ポストコロナ”の模索として、今節も“声出し応援適用試合”となる。チームが苦しんでいるからこそ、僕らFC岐阜サポーターは、声出しをする者もしない者も、ガイドラインを忠実に守りつつ、選手たちの背中を押し続ける応援を繰り広げよう。声を出せない席でも、拍手やタオマフを回すことで、スタジアムを盛り上げよう。FC岐阜に関わる者すべての力で、この困難な局面を乗り越えてゆこう。(ささたく)

**投稿募集 !!** [gidaidohri@gmail.com](mailto:gidaidohri@gmail.com)

## 【第21節】岐阜 0-3 藤枝

●前半 22分、1点ビハインドの状況から再開という、サッカーを結構な試合数見てきてもなかなかない体験ではあったけれど、現状の順位を反映した内容と結果といったところかな。仮に最初からやり直しであったとしても、結果は同じだったのである。

試合の途中から観るのって難しい。中断前の試合を観ていないこともあるけれど。そんなわけで個人的に今回は最後まで気持ちが入らない感じでした。

それでも藤枝のCF渡邊りょうはやはり脅威だったな、シーズン最中に同カテゴリの沼津から引き抜いただけのことはあった。あとは鈴木惇がさすがの貴祿、要所要所でしっかり効いていた印象が。(岐阜の誇り)

●雷雨によって8/20の試合が中断し、9/14に再開。試合開始前に中止が決まった試合は経験あるけど、岐阜では初めての事案じゃないかしら？そして、注目すべきなのは、既に3試合を経て、選手状態もチーム戦術も変化している状況で、この再開試合をどうやって戦うのか。そして、メンバーは怪我してなければ中断前と同じ……じゃなかったですね、ウチ(苦笑)。まあ連戦の疲労も考慮したのか、藤枝も少し変えてきたから、お互い様な部分なのかも。こういった事案は、多分リーグも想定していないから、厳密なルールは存在しないのかもしれない。

さて、システムは中断前の3バックから4バックに変更して、中断前は押し込まれていた岐阜が、再開直後は優位に立つ展開。だけど……決定機で、相手PA内で“シュート一択”にしか僕には思えなかった場面で、撃てずにチャンスを何度も自ら逃してたら、そりゃ苦しい展開になりますよねえ……(溜息)。ちょっと前から僕は疑問になりつつあるんですが、ひょっとして、『ドカン！』って思い切りの良いパンチの効いたシュートに、久しくお目に掛かっていないのでは…？そりゃあ、撃てば良い場面ばかりじゃないのは素人の僕でも分かりますが、撃たなきゃ何も始まらない場面だってあると思う訳ですよ。この辺りの選手たちの迷いが、悪循環してしまっているように思えます。

とはいえ、苦しいながらも何とか均衡を保っていた試合なんですけど……2点目というか、その前のPK献上の場面は、なんですかアレ……(溜息)。追ってるDF2人とGKの意思疎通が全く来ていないし、集中力を欠いたようなチグハグなプレーにしか、僕には見えなかった。その前の裏にボールを通された場面も酷いんですが、とにかくマジで当事者は反省してください。3点目も、まあ酷かったですよね……。スタンドから、ほとんど悲鳴も感嘆も聞こえず、『そりゃ失点するよねえ』といった雰囲気。得点も奪えず、守備も崩れて、どうするのコレ……。

もう若手選手中心の編成に切り替えて、少しぐらい下手でも良いから、最後まで必死に走ってる姿を見てた方が、まだマシじゃないかと思ってしまいました。そんな僕ですが、掌返しをする準備は来ています。手首がねじ切れるほど、返させてください。(ささたく)

●雷による中止の再試合はDAZNでの観戦。ま、正直な話、現地でも見て、モニターでも見て感想は変わらなかったと思う。曰く、順位通り。最下位には、内容はともかく、3-0で勝てるけど、順位の近い相手にはラッキーなPKで辛くもドロー。そして、昇格争いをしているチームには軽く捻られる。あからさまに現状がわかる試合でした。個人的にも、組織的にも成長も成熟も見られないのが残念ですが、そういう編成なんだからしょうがない。

0-1からの再開だったけれど、全部チャラにしての試合だったとしても結果は変わらなかったんじゃないかなあ？。それでも、得点のチャンスはあったんだけどね。撃ちやすい体勢を作ろうとしてる間にソレを逸してたような。もったいないなあ。

2失点目のPKは、キリが前に出ようとした瞬間に「あ……、」と声が出た。明らかに遅い。モニター越しに見てる自分がそう感じるんだから、主審にはもっと気配がわかるだろうな。キリは相手に詰め寄ってたけど、残念ながら妥当な判定。で、大勢はこれで決ってしまったんだけど、ダメ押しの3点目。アレはナニ？最終ラインが揃いも揃ってクリアの動きも見せずに見送るだけ。で、どフリーで駆け込んできたサイドの選手に決められてたけどさ。相対するはずの選手が中をケアしてたから、フリーウェイになっちゃたのかな？ウチの右サイド。やっぱり、守備が大事なんだよなあ、と今更ながら感じた次第。長良川での試合なんだから、もうちょっと、なんとかしてほしいかね。しかし、よくもまあ、あれだけ有給取りに行ってくれたよね。アウェイ連戦だから、特に影響はないかもしれない(苦笑)。とにかく、次の長良川では笑顔になりたいな。(ぐん、)

●終わってみれば、とってもしっかりしやすい試合だった。前半22分を終了して0-1のビハインド、それをリニアに引き延ばしたら0-3になりました、みたいな。やることがあるチームと、ないチーム。目標のあるチームと、ないチーム。右からのクロスはファーサイドからダイビングヘッドでゴールゲット出来るチームと、右からのクロスをゴール正面で合わせて相手GKの正面に蹴ってしまうチーム。それらを勘案して総合的に表現すると「強いチームと、弱いチーム」になる。強いチームが弱いチームを順当に殲滅した。実にわかりやすいから他にコメントのしようがない。(吉田鑄造)

## 【第25節】八戸 3-1 岐阜

●虚無。

もう淡々と残りの日程を消化していただけなのかね？悲しいとか悔しいとかそんな感情すら湧いてこなかった。そんな気持ちになってしまうのが悲しいわけなんだけど。(岐阜の誇り)

●9/14(水)夜にホームで試合を試合をして、中2日でアウェイ戦。相手は1週間の準備期間。そりゃ明らかに不利ですが、それでも相手は3連敗中17位(当時)のチームなんですけど……あれだけ自陣ゴール前の反対側を空けてりゃ、そりゃスペース使われて飛び込まれて、ゴールを許しちゃいますよねえ……(溜息)。こういった逆サイドを空けての失点シーン、残念ながら見慣れすぎちゃってる感があるんですが(苦笑)。これって、僕らが失点してる場面だから強く印象に残るだけで、他所のチームも同じような形で失点(僕らからしたら得点)してるのかしら？相手に逆サイドを使わせなきゃいけない暗黙のルールがある訳じゃないですよえ……。

後半に#38藤岡浩介が投入されて、#42柏木陽介のFKで相手ゴール前が混戦になって、そこで押し込んだまでは良かった。だけど、やっぱり足が止まってしまう。2失点目なんか実に綺麗に左右ワイドにボールを動かされて、どフリーにさせてミドルをドカン！DF陣が全然反応(対応)できてないもんなあ……。3失点目も、自陣ゴール前中央での混戦で、外に持ち出されたら誰もついていけず、フリーでドカン！これで勝負あり。

確かに中2日という圧倒的不利なアウェイだったけれど、だったらメンバー総入れ替えしても良いんじゃないのかな？と僕は思う。アウェイなんだし、若手選手を成長させる場として。もちろん、勝って欲しいのはホームでもアウェイでも同じだけれど、そういった割り切り方をしていく方が良いんじゃないかと、来季に繋がるんじゃないかと、僕は最近思っています。(ささたく)

●試合の感想……。感想かあ……。なんの、ワクワクもドキドキもなく、ただ、淡々と時間が過ぎて、淡々と負けた……。としか言いようがない。以前なら、いい内容でも結果が出なかった時にはタオマフ掲げてたりしてたんだけどなあ。正直、掛ける言葉がなかった。無為すぎて。ああ、声出し禁止だっ

たね。言葉が見つからなくてよかったのかもしれない(苦笑)。しょうがないから拍手しといた。こんなシラけた拍手をウチのチームに贈るのは初めてだよ。藤枝戦の感想で「最下位には勝ち、似たような順位には引き分け、上位には云々。」と書いたけど、下位チームに普通に負けてたよね。サッカーに消化試合はない、と思ってたんだけどね。もう、何回、同じような失点シーンを見たことか。2年続けて、こういう試合を見ることになるとは思わなかったよ。陸奥は寒かった。それでも、Jヴィレッジまで行きますよ、と。(ぐん)

●自信と確信。藤枝が持っていたのは「俺たちはこのサッカーで戦える」という自信で、八戸が持っていたのは「俺たちはこのサッカーで戦う」という確信。そして、岐阜はそのどちらも持っていない。シーズンも終盤になろうとしているのに、だ。

まあ、でもこの試合はアウェー戦。実際のところ、勝つてもクラブの収益には直接はつながらないからね。ホームで勝つための、このサッカーであるなら、納得します。「ホームで勝つため」ならね。(吉田 Casting)

## 【第26節】いわき 2-1 岐阜

●今季J3初参入ながら、下馬評どおり?それ以上?に快進撃を続けるいわきFC。ところが、前の試合では今治に敗れ、まさかのダブルを喫する結果。調子を落としたのか……と思った僕が浅はかでした(苦笑)。だけど、今治に2回負ける(ちなみに岐阜も2回負ける)ってのは、分析してみる必要があるのかもしれない。

さて試合は、圧倒的なフィジカルを武器にしたいわきの鋭いカウンターに、なんとか岐阜の選手たちが食らいついていく構図。この集中力を見せられると、やっぱりウチの対戦相手は、(有名選手が多い岐阜を倒すんだと)モチベの高いチームばかりなんだろうなあと思ってしまいます。しかし前半終了間際、岐阜の選手の足が止まり始めた時間帯に、目の覚めるような鋭いクロス。それを素早くゴール前に走り込んで、きっちり合わせて、いわき先制。いやあ、相当厳しい走り込みや練習を繰り返してないと、あんな連係プレーは出来ないんじゃないかしら?風の噂では、北西部練習場の環境はあまり良くないという話だから、とりあえずウチも(JFL時代にやってた)金華山トレーニングとかで、足腰と心肺機能を鍛え直した方が良くないんじゃないかしら?なんてことを思わずにはいられない、敵ながら見事なゴールでした。

んで、後半は#38 藤岡浩介が、ゴール前のこぼれ球を決めて同点……って、このパターン多くない?僕の気のせい?(苦笑) #38 藤岡のストライカーとしての嗅覚なのか、あるいは“もってる”のか……。ただ、いずれにせよ、#38 藤岡は中央で使うべき選手だってことじゃないのかなって僕は思う。サイドは他の選手に任せて。

んで、ラッキーなことに同点にできて、岐阜も何とか粘って守ってて…だけど、あの失点シーンは酷すぎた。自陣ゴール前のハイボール処理で、DFとGKが競り合って交錯してボールをこぼして……(溜息)。何故あんな連係ミスが起きたのか、僕には分からない。声を掛け合う時間も充分にあった。本当に本当に、勿体ない失点だった。ましてや、これが決勝点だなんて。

シーズン終盤で疲労のためなのか、目標が失われてしまったためなのか。僕には分からないけれど、勝ちたいという姿勢がはっきり出せるチームを見たいと、僕は思います。(ささたく)

●前日に福島入りして近場に泊まったのに、しょうもないミスのせいで、10時過ぎに広野駅。最寄りのJヴィレッジではなく、この駅に降りたのは無料のシャトルバスが出てくるから。いわきFCさん、ありがとう。2便めに乗ろうと思ってたら、駅前で見えたことある方とバッタリ。会長さんでした。

次のシャトルバス発車時間を伝えたら、それでは遅いみたいで「よかったです、いっしょに。」とのお誘いがあり、緊張しつつも、タクシーに同乗させていただくことに。車内では、少しお話も。ありがとうございました。

初めてのJヴィレッジは快晴なれど、やや風強し。観戦する分にはありがたいんだけどね。選手たちには……と思っていたが、いらぬ心配だった。言い訳のしょうがないワ(苦笑) 試合の翌日にスタッツを見てビックリ!こんなんでしたっけ?>シュート数。

数字だけ見れば、このスコアでもありかな?と思うんだけど、現地ではそんな感覚じゃなかったなあ。なんなら、もう2点くらい取られてもおかしくなかった。それを考えると、よく粘ったほうかもしれない。先制点は、相対した選手に転がされかけた時点で勝負あり。44分まで、よくガンバってくれてたんだがなあ>22番。

結果には納得してるが、それにしたって、アノ決勝点はいかにももったいなさ過ぎるよね。なんだか、同じことばかり書いてるような気がする。テンプレだな、このフレーズ。そんなにクリアするのが難しかったかな。遠い方のゴール前でよくわからなかったんだけど。見返す気にもならないのが悲しい。それでもね。最下位のチームが昇格争いをしてるトコに一泡吹かせたり、下位のチームが同じく昇格争いをしてるトコに『無慈悲なスコア(6-0のコトをそう呼ぶらしい)』で一蹴したりすることもある。勝利を願って現地に行くだけですよ、ええ。あ、浩介には得点王を取ってもらいたいな。(ぐん)

●くどいけど、この試合でも同じ喩えを使います。藤枝は自信を持ち、八戸は確信を持ち、いわきは自信と確信を揃えて持っていた。いまの岐阜でどうのこうの出来る相手じゃないです。1点差ですから、健闘したと思います。褒めてもいいくらい。しかし、また日高大(1点目のクロス上げた選手)かあ……。長良川でも彼の2得点で負けている。いい選手だ。さすが、元・Hondaだね。

さて、現時点で岐阜は勝ちが9で負けが12。残り8試合、いよいよシーズン負け越しの可能性も出てきました。これが開幕前に一部で『銀河系』と揶揄(苦笑)されたチームの現在位置です。『銀河系(仮)』に残された仕事が残務処理(試合消化ともいう)じゃあ寂しいですよ。とにかく、長良川では勝ちましょう。ホームでいいところを見せるのは「お仕事」です。(吉田 Casting)